

# 医者も知らない 平穏死



連載②①

〈長尾和宏〉長尾クリニック院長。日本尊厳死協会副理事長。著書に「平穏死10の条件」など。

前回、少し触れた「リビング・ウイル」とは、延命治療に関する自分の意思のこと。ぜひ、元気なうちに書面で残し、表明しておくことです。

「具体的にどういう方法がありますか？」と聞かれた時、私は「日本尊厳死協会」への入会をお勧めしています。日本尊厳死協会は、リビング・ウイルの啓発活動を行う人権団体で、会員数は13万人近く。創立36年の歴史があります。

実は私は、この団体

## リビング・ウイルの表し方



もしもの時のために……

は常に揺れ動き、それを常に持ち歩き、ます。平穏死を医療機関にかかる時は迎えるひとつの最初に提示。カードの手段として、日コピーがカルテに挟ま本尊厳死協会を、意思表示ができなかったら、自分の意思を伝える手段になります。

日本尊厳死協会 終末期医療への関心の年会費は2000円。入会が高いアメリカでは、国民の41%がリビング・ウイルを表明しています。一方で、日本ではたつた0.1%。人生の最期をどう締めくくるか……。真剣に取組む日本人が、もつても退会できるとリビング・ウイルカードが増えてほしいと思うのです。人間の気持ちを送付されてきます。のですが……。